



第5回 世界で闘う グローバル女子会

Global Women's
Association

IN 大阪 シンポジウム第二部 パネルディスカッション
パネリストのご紹介①



Sumika Oki

大木澄香 from サンフランシスコ

1976年9月 山梨県富士吉田市にて誕生
1982年4月 増穂町立増穂小学校入学
1988年4月 増穂町立増穂中学校入学
1991年4月 山梨県立市川高等学校英語科入学

小学生までは小児ぜんそくで体が弱く、学校も休みがち。しかし、中学に入るころには健康を取り戻し始め、中学時代はバドミントン部、演劇部に所属。高校は隣町にある母親の母校にて英語科を選択。チアガール部、放送部、演劇部に所属。チアガール部では甲子園にいったことが青春の大きな思い出。中学時代から英語のスピーチコンテストに出場し、高校では全国大会に出場。

1994年4月 静岡県立静岡大学 国際関係学部 国際言語文化学科 英米文化コース入学

部活動はシェークスピア演劇部と放送部。コミュニティのラジオ番組を担当させてもらう。

大学のそばある居酒屋でバイトをしながら、夏休みには海外バックパック旅行。大学2年の頃から就職活動でアナウンサーを志望。東京アナウンスアカデミーまで新幹線を通う。就職活動の一環として受けたミス静岡の大会で1998年度のミス静岡に選ばれる。在学中からフリーアナウンサーの事務所に所属し、フリーランスとして仕事を始める。千葉テレビ、テレビ埼玉などでレギュラー番組を持ち、間はイベントのMCをするなどして生活費を稼げるようになっていく。最初はスポーツや朝の番組のリポーターがほとんど、しかし目標はお茶の間のローカルニュースを読むこと。ただ、不景気の波が押し寄せ、報道に行くのが難しいことを肌で感じ、小さい頃から憧れだったアメリカ留学を思いつく。

2005年2月 渡米

スーツケース一つで誰も知らないアメリカの地を踏む。

地元の日本語放送局で経験を積んでいる間に、友人から紹介された方と結婚。だんなからの強い希望で転職。

2007年7月 TOTO 入社

会社員として働いた経験のない私を、1から温かいまなざしで育ててくださったこの会社に感謝。途中、私にとって人生で一番大変だった離婚を乗り越えられたのも、仕事があったこと、大切な友人がいたことが大きかった。

2013年11月 和みの会 Santana Row のイベントに初参加

学生のスピーチコンテストに胸をうたれ、打ち上げまでご一緒する。女性のパワーを肌いっぱい感じる。このときのきらきらした女性のパワーに感動と興奮で胸が熱くなった。私は、もっと女性の力を行かせる何かをしていきたい。